



とくぢ苑デイサービス
利用者さんの作品



あけまして

おめでとうございます

皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、佐波福祉会の事業運営に対し、温かいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。昨年中はコロナ禍の影響による面会制限等により、ご利用者の皆様ご家族の皆様に変なご不便をおかけしました。今後全国的な感染拡大の恐れがあり、さらに気を引き締めてご利用者の皆様の安全確保を最優先としてまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

また、平成5年に開設した長寿苑デイサービスセンターが幕を閉じ、新しいとくぢ苑デイサービスをセンターとなりました。好評の機能訓練をさらに充実させる等皆様に喜んでいただけたるデイサービスとして取り組んでまいります。

法人の設立以来、基本理念を「敬愛」とし大切にしてきました。これからも、ご家族の皆様と連携を密にしながら、ご利用者の皆様に心のこもった質の高い介護サービスの提供に努め、地域の皆様に愛され信頼される施設として努力してまいりますので、皆様のご指導ご支援をよろしく願います。

新春にあたり皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

社会福祉法人佐波福祉会

理事長 山本 彰治

役職員一同



昨秋、公益財団法人JKAの補助事業により、競輪補助金から購入費の全額助成をいただき、11月よりAI体温検知カメラをとくち苑玄関ロビー及び特養職員の更衣室前に設置しています。

来苑者に対して、受付で事務員が検知器を額にかざすことなく、感染リスクが軽減されました。

また、特養職員は自宅で体温測定の上、さらに出勤時に検温する、二重のチェック体制を取ることができ、新型コロナウイルスの苑内持ち込み防止に役立っています。



11月13日、中央小学校で開催された八坂小児童による「第2回重源太鼓ゲリラライブ」のための送迎支援を八坂小学校・中央小学校の間、苑所有のマイクロバスで行いました。

また、11月20日には、同校のふれあい遠足の送迎を旧引谷小学校・八坂小学校間で行いました。

第2回重源太鼓
ゲリラライブの様子



送迎時の様子(中央小にて)

11月2日に特養ととくち苑と生活支援ハウスまなごで、4日にグループホームかじかの里において、夜間を想定した消火訓練・通報訓練・避難訓練を実施しました。

本年度は、コロナ感染防止の観点から規模を縮小し、職員のみで手順・機械操作の方法などを確認しました。



特養ととくち苑では、入所の皆様の健康維持のため、年に一度胸部レントゲンを実施しています。今年度はコロナの影響で実施時期が遅くなり12月1日に実施しました。入所の皆様に少しでも寒い思いをさせないように、検診車を近いところに着ける等の協力をいただき、スムーズかつ無事に終わることができました。

様々なところにコロナの影響が出ています。

表彰者紹介

10月28日、社会福祉事業への功労と功績が認められ、とくち苑の田中常子看護職員、グループホームかじかの里の西村順子介護職員(写真上より)が山口県老人福祉施設協議会会長表彰を受賞しました。これからも引き続き、より良い介護サービスの提供に努めて参ります。





生け花は生ける楽しみ、飾って愛でる楽しみがあり
皆さん楽しみにされています（とくぢ苑生花クラブ）



面会制限などでご家族に会えず、ずっと施設の中で過ごされている皆さんの
気分転換になればと、周南市の長田海浜公園へバスドライブ（特養ユニット）

クリスマスケーキ作り（特養ユニット）



みんなで芋ほりの後は、大収穫のさつま芋
でカップケーキを作りました（かじかの里）

楽しかった
あんなこと
こんなこと…
各事業所の行事



冬はたくあん漬けて、
白菜漬けて…昔話に
花が咲きます(まなご)



羽子板飾り作り（かじかの里）



新年の玄関を飾る干支の壁画作り
完成が楽しみです（とくぢ苑デイ）



ボランティアの「周南ひよっとこ会」さんが今
年は行けないからとDVDをくださり、皆さん
に楽しんでいただきました（とくぢ苑デイ）

【新型コロナウイルスに関する相談について】

山口県でも毎日の様に新型コロナウイルス感染確認のニュースが流れています。
新型コロナウイルス感染が身近に迫っていると感じる今、体調が悪いと『もしかして…』と心配になることも。そんな時、まずどこに相談したらいいのか、知っておくことも大事な感染対策です。

新型コロナウイルス感染症が疑われる時

★受診する前に必ず、下記の場所に電話してください。

山口健康福祉センター ☎083-934-2533

山口県健康増進課 ※ ☎083-933-3502



【受付時間】9:00～17:00 ※土日・祝日は、県健康増進課で対応しています。

※緊急を要する場合は、受付時間外でも、ご相談に応じます。また、必要に応じて、医療機関を紹介してくれます。

山口県ホームページより引用

コロナ禍でも必要な受診を

- 1 過度な受診控えは健康上のリスクを高めてしまう可能性があります。
- 2 コロナ禍でも健診や持病の治療、お子さまの予防接種などの健康管理は重要です。
- 3 医療機関や健診会場では、換気や消毒でしっかりと感染予防対策をしています。
- 4 健康に不安がある時は、まずはかかりつけ医・かかりつけ歯科医に相談しましょう。

厚生労働省ホームページより引用

身近な方をコロナから守る為に・・・新型コロナウイルス接触確認アプリのインストール

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです。

iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



詳しくはこちら

厚生労働省
ウェブサイト



編集委員

小田 重将	松村 愛弥
木原 久智	山田 純子
水津 利章	米田 美樹
田戸恵美子	頼永 将志
藤本亜希子	(50音順)

〈編集後記〉

一年の始まり…「冬はつとめて(早朝)」凜とした空気に心が洗われるようで、好きな時間です。「春はあけぼの」、「夏は夜」、「秋は夕暮れ」、そしてまた冬。一年はあっという間に経ってしまいます。コロナ禍にあっても上を向いて、感性豊かに巡る季節を楽しみましょう。健康と安全をお祈りいたします。

現在、新型コロナウイルス感染予防の為、ボランティアの皆さまには、ご来苑を自粛いただいております。
ご協力ありがとうございます。